

めざす児童生徒像

つよく やさしく かしこい子

- つよさ 真の強さをもった子に
- やさしさ すべての人にやさしい子に
- かしこさ みんなでとことん考える子に

※児童生徒結果-教員結果-保護者結果

目標	項目	目標指標	評価達成度アンケート内容・調査項目	数値・アンケート結果 (%)			※差	達成状況の分析	改善策
				教員	児童生徒	保護者			
学校重点項目 (学校で設定)	生徒指導	①②の項目について、肯定的回答をしている教員の割合が平均90%以上 ③④の項目について、肯定的回答をしている児童の割合が平均80%以上	① 生徒指導の4つの視点を生かした授業づくり、関心・安全な居場所づくりに努めている。						
			② 児童の自己有用感を高め、共感的人間関係を育むように努めている。						
			③ 児童が「自分にはよいところ、成長したところがある」と実感している。						
			④ 相手の気持ちを考えた言動をしている。						
			集計						
重点項目 石川県共通 業務改善 働き方 意識の向上	業務改善意識の向上	①②の項目について、肯定的回答をしている職員 の割合が平均90%以上	① 80時間越えゼロに向け、時間外勤務の削減に取り組んでいる。						
			② 学校組織の中で自分の役割が明確であり、創意工夫しながら取り組むことができている。 教職員が協働的に働き、仕事に「やりがい」を感じている。						
			集計						
小松市共通重点項目	学校研究	①②の平均が 中間・・・85%以上 年度末・・・90%以上	① 研究主題に迫る目指す授業スタイルを共有し、単元(授業)構想シートなどの具体的な取組を共通実践している。						
			② 授業研究では、教職員一人一人が子供の姿を語ったり、改善案を示したりするなど主体的に取り組んでいる。						
			集計						
	指導力の向上	「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善	①②④⑤の割合が、 中間・・・80% 年度末・・・85%	① 児童生徒は、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。					
				② 児童生徒は、学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる。					
				③ 児童生徒は、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。					
				④ 児童生徒は、話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え(自分と同じところや違うところ)を受け止めて自分の考えを伝えている。					
				⑤ 児童生徒は、振り返る活動の中で、授業の目標に沿って自分の学びの変容を実感したり、学びに対する達成感を得られたりしている。					
				⑥ 児童生徒は、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするために使用している。					
		集計							
	学力の向上	カリキュラム・マネジメント	①②③の平均が90%以上	① 指導計画の作成に当たっては、学校の教育目標の実現に向け、各教科等の教育内容を教科横断的な視点で組み立てている。					
				② 児童生徒や学校、地域の実態を捉えて教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。					
				③ 全職員が学力向上の取組の目的や意義を理解し、課題の解決を期待できると納得して共通実践に取り組んでいる。					
④ 校区の小・中学校間で学力について情報交換し、課題について共有している。(小中連携)									
集計									
学習方法		①②の平均が 中間・・・80%以上 年度末・・・85%以上	① 児童生徒が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行っている。						
			② 児童生徒が自分の特性や理解度・進度に合わせて課題に取り組む場面では、児童生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を活用している。						
			集計						